

平成28年度

事業報告書

自；平成28年(2016年)3月1日

至；平成29年(2017年)2月28日

公益財団法人

日本高等学校野球連盟

## 1. 高等学校野球の普及、振興、指導及び監督

- (1) 年度内に評議員会を1回、理事会を5回、それぞれ開催して案件の審議、決定を行いました。また毎月定例として業務運営委員会を開催（12月を除く）して当面の諸案件について協議、連盟運営の円滑化を図りました。
- (2) 年度内に各種委員会（総務、財務、審判規則、選手権大会運営、選抜大会運営、軟式部、技術・振興、連盟70年史編修）を必要に応じて随時開催し、諸問題の検討を行い、高等学校野球の健全な育成、発達に努めました。また、審議委員会を開催し（全体委員会を年5回、小委員会を週1回計45回）、不祥事件に対する指導を行うとともに、不祥事件発生防止の重点目標を5項目（指導者の部内暴力の根絶、部員のいじめ行為の絶滅、インターネットや携帯電話のメールによる迷惑行為の防止、部活動引退後の3年生部員への指導の徹底、アウトオブシーズン中の指導の徹底）を挙げて、諸会議や通達で指導徹底を行いました。さらに「高校野球200年構想」協議会を随時開催し、「普及・振興」「けが予防・育成」「財政・財源」を3つの柱として、高校野球の未来について協議しました。
- (3) 年度内に各都道府県高等学校野球連盟会長会議を1回、同理事長会議を2回それぞれ開催し、加盟団体との連絡と諸問題の伝達、徹底を計りました。
- (4) 本年度も『大会参加者資格規定』を定め、各都道府県連盟に通達し、加盟校への指導を要請しました。
- (5) 各種表彰（日本学生野球協会優秀選手表彰、育成功労賞表彰）を行いました。
- (6) 高等学校野球の普及、振興のため、部員不足による連合チームの大会参加を認めることとしました。

## 2. 高等学校野球大会その他の試合の開催及び協力

### (1) 第88回選抜高等学校野球大会

毎日新聞社と共催で平成28年3月20日（日）から31日（木）までの12日間（休養日1日含む）、阪神甲子園球場で開催、平成28年1月29日（金）に開かれた選考委員会で選考された32校が参加し無事盛況のうちに終了、智辯学園高等学校（奈良）が初優勝を果たしました。準優勝は高松商業高等学校（香川）。

### (2) 第98回全国高等学校野球選手権大会

朝日新聞社と共催で平成28年8月7日（日）から21日（日）までの15日間（休養日1日含む）、阪神甲子園球場で49校が出場して開催した。作新学院高等学校（栃木）が54年ぶり2回目の優勝を果たしました。準優勝は北海高等学校（北海道）。

(3) 第61回全国高等学校軟式野球選手権大会

全日本軟式野球連盟、朝日新聞社、毎日新聞社の後援を得て、平成28年8月24日(水)から30日(水)までの6日間(決勝雨天順延、1日休養日を含む)、兵庫県の明石トーカロ球場とウインク球場(姫路球場)の2球場で開催しました。参加校は全国16地区から各1校ずつ計16校。天理高等学校(近畿・奈良)が初優勝を果たしました。準優勝は早稲田大学高等学院(東京)。

(4) 第71回国民体育大会・高等学校野球競技

岩手県で硬式の部、軟式の部ともに平成28年10月2日(日)から5日(水)までの4日間でそれぞれ開催。

硬式の部は、盛岡市の岩手県営野球場ならびに花巻市の花巻球場で12校が参加。履正社高等学校(大阪)が初優勝を果たしました。準優勝は広島新庄高等学校(広島)。

軟式の部は、山田町の山田町民総合運動公園野球場で10校が参加。天理高等学校(奈良)が6年ぶり2回目の優勝を果たしました。準優勝は早稲田大学高等学院(東京)。

(5) 第47回治神宮野球大会・高等学校の部

平成28年11月11日(金)から15日(水)までの5日間、明治神宮野球場で開催。高等学校の部は、秋季地区大会の優勝校10校が参加し、履正社高等学校(大阪)が初優勝を達成しました。

(6) 春季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道、東北(岩手)、関東(群馬)、北信越(福井)、東海(岐阜)、近畿(和歌山)、中国(鳥取)、四国(香川)、九州(長崎)の全国9地区で平成28年4月中旬から6月上旬にかけて開催しました。

(7) 秋季地区大会

各都道府県高等学校野球連盟の協力により、北海道(札幌)、東北(山形)、関東(栃木)、東京、北信越(長野)、東海(静岡)、近畿(和歌山)、中国(山口)、四国(愛媛)、九州(大分)の全国10地区で平成28年10月上旬から11月上旬にかけて開催しました。

3. 高等学校野球に関する調査及び研究

- (1) 平成28年5月末現在の硬式、軟式それぞれの加盟校数、部員数調査を今年も実施しました。集計結果は硬式が167,635人(1,263人減)で2年連続の減少、軟式が9,561人(746人減)で3年連続の減少。また、加盟校数は硬式が昨年から7校減の4,014校、軟式が5校減の449校。

#### 4. 高等学校野球選手、部員等のスポーツ外傷予防及び健康増進

- (1) 年度内に開催の第88回選抜大会と第98回選手権大会に参加した投手全員を対象に、大会前に肩、肘の関節機能検査を実施、スポーツ障害の予防に努めました。検査結果の概要は次の通り。

	(88回選抜)	(98回選手権)
検査受診者数	104人	151人
	肩・肘	肩・肘
X線所見・肘（剥離骨折）	なし 30人	なし 37人
同・肘（遊離体）	なし 1人	なし なし
	肩・肘	肩・肘
医師の診断	軽度の炎症	6人 11人
	中程度の炎症	なし 1人
	10人 15人	1人 1人

以上の結果、大会規定による投球禁止適用者はいなかった。

#### 5. 高等学校野球に関する講習会・研修会の開催

##### (1) 新任理事長研修会

平成28年度新たに就任した都道府県連盟理事長8人(秋田、埼玉、長野、富山、奈良、岡山、鳥取、佐賀)を対象に、平成28年5月23日(月)、24日(火)の2日間、中沢佐伯記念野球会館で研修会を開催しました。

##### (2) 審判講習会

第56回全国審判講習会を平成28年4月23日(土)、24日(日)の両日開催。実技は阪神甲子園球場、座学は兵庫県立総合体育館で実施。各都道府県から参加した受講者48人(各都府県1人、北海道は2人)を対象にルール研修や実技指導を行いました。

また、北海道をはじめ9地区の地区別審判講習会に講師を派遣、地方審判の技術向上に努めました。

さらに、都道府県連盟審判との連携強化、審判技術の向上と正しい指導方法の習得を目的とした6回目の「高校野球 Umpire Coaching Clinic」を平成29年2月17日(金)から19日(日)までの3日間、前年の選抜大会ならびに選手権大会に審判委員を派遣した都道府県連盟からの推薦者17人を対象に実技及び座学研修を行った。

また、プロとアマとの審判の交流、情報交換を目的に平成28年1月17日(日)に第21回プロアマ合同審判研修会を尼崎市立尼崎高等学校室内練習場で開催。プロから28人、アマ(社会人、大学、高校)から34人が参加した。

その他に、中学・少年野球育成事業の一環として、18回目の少年野球合同審判研修会を平成29年2月4日(土)、5日(日)に開催、少年野球3団体所属(ボーイズリーグ、リトルシニア、ヤングリーグ)の審判35人を対象に審判技術の統一と向上を図りました。

##### (3) 指導者研修会

都道府県連盟主催の加盟校指導者研修会に講師を派遣しました。

(4) 指導者育成プログラム「高校野球・甲子園塾」

高校野球のよき指導者となるために、教員在籍10年未満の指導者を対象に2回開催しました〔第1回；平成28年11月18日(金)から20日(日)、第2回；平成28年12月2日(金)から4日(日)のそれぞれ3日間〕。各回27人が参加して、近府県加盟校の協力を得て、グラウンドでの実技研修ならびに中沢佐伯記念野球会館での座学研修を行いました。

(5) プロ野球現役選手によるシンポジウム「夢の向こうに」

日本野球機構、日本プロ野球選手会の協力を得て、1ヵ所で開催しました。開催結果は次のとおり。

平成28年12月11日(日) 滋賀県 大津市・皇子山球場

受講者；加盟校数56校、部員320人

6. 高等学校野球を通じた国際交流及び国際相互理解の推進

年度内に次の国際大会に参加し、野球を通じて諸外国と親善、友好を深めるとともに、相互の競技力向上に努めました。

(1) 第11回BFA U-18 アジア選手権(台湾開催)

平成28年8月30日(火)から9月4日(日)までの6日間、台湾・台中市で開催された第11回BFA U-18 アジア選手権に高校日本代表チームが出場しました。参加は8か国・地域。

◇最終順位

第1位 日本<2大会ぶり5回目>、第2位 チャイニーズ・タイペイ  
第3位 韓国、第4位 中国、第5位 香港、第6位 フィリピン、  
第7位 タイ、第8位 インドネシア

7. 高等学校野球に関する関係諸団体との協力及び提携

(1) 野球各団体との提携

全日本野球協会、日本野球連盟、日本学生野球協会、全日本大学野球連盟と定期的に打ち合わせを開催。

(2) 学生野球資格回復に関する協議会

日本学生野球協会と日本野球機構ならびに日本プロ野球選手会が元プロ野球選手の学生野球資格回復について検討する学生野球資格回復に関する協議会に参画しました。

以 上